

3 管内の学力向上策に関連した特色ある取組

【空知管内の学力向上策に関連した特色ある取組】

日常的な授業改善の推進

◆ 教育局の学力向上策の概要

- 市町教育委員会学力担当者会議を開催し、学力向上に係る課題を共有、対応策を提案
- EBE協議会等を通じて、全国学力・学習状況調査等の客観的なデータのクリティカル・シンキング[※]（批判的思考）により、自校の課題に向き合う管理職・教員を育成
- 局独自オンライン学習会「空知でVIEW」において、若手・中堅教員を中心に、授業観の転換やICTの日常的な利活用についての理解を促進するとともに、実践力を育成

◆ 学力向上策に関連した特色ある取組

取組のポイントとその具体

■ 1 市教委が指導性を発揮した小中連携の推進（砂川市教育委員会）

- ・ 端末活用スキル系統表の作成
市教委が児童生徒の発達の段階に応じた「端末活用スキル系統表」を作成し、市内全校で共通理解を図りながら、児童生徒の情報活用能力の育成に向けた統一した取組を進めた。
- ・ 家庭学習チャレンジ週間の設定
市教委が、市内全校統一の「家庭学習チャレンジ週間」を設定するとともに、市PTA連合会の協力の下、小中共通の「家庭学習の手引」を作成し、市内児童生徒の学習内容の確実な定着と望ましい学習習慣・生活習慣の確立に取り組んだ。
- ・ 学習過程・学習評価の共通理解
市教委が、各種会議や研修等を通じて、市内全校に、指導と評価の一体化について、市教委の考え方を示し、市として一貫性のある授業改善を進めた。



【家庭学習の手引】

■ 2 小・中学校の教員による主体的な授業改善（砂川市立全小・中学校）

- ・ 学校間の授業配信
令和8年度の義務教育学校開校に向けて、市内全小・中学校が授業改善の視点の共有を図り、研究授業のオンライン配信を行うなど、学校間の学び合いを継続的に行った。
- ・ 小中合同研修会の実施
市内全小・中学校の教員が、市教委が示す学習過程・学習評価の考え方を踏まえて、日常の実践に取り組み、その成果と課題を合同研修会で共有するなど、教員主体による授業改善が進められた。



【小中合同研修会の様子】

◆ 成果・課題

- ・ 管内の各教員の授業改善に対する意識改革が図られ、多くの学校において、学びの主導権を児童生徒に委ね、1人1台端末を活用しながら学びを深める実践が見られるようになってきた。
- ・ 教員一人一人が、全国学力・学習状況調査の結果のみならず、出題内容にも着目し、日常の授業改善の方策を検討するなど、児童生徒に求められる資質・能力について理解を深める取組を進める必要がある。